

附属学校最新情報紹介

学校名	大阪教育大学附属平野小学校		
役職	PTA 会長	氏名	藤井 由香
活動名	体感型教育講演会「子どもの『成長ファーストで考える』学校と保護者のチームワーク」		

【活動趣旨】

「いじめ対策」はどの学校においても喫緊の課題です。学校と保護者が知識を共有することで対応の選択肢が増え、ひいては子ども・保護者・学校、三者の未来が変わります。保護者や学校が取り得る選択肢を学び、学校と情報を共有しあくまで「子どもの成長」を目標とした対応を取ることが大切だという意図のもと活動を行いました。

【活動内容と特徴】

令和5年11月21日、本校元副校長先生で大阪大谷大学准教授の四辻伸吾先生をお招きしてご講演をいただきました。お話を伺うのみの教育講演会ではなく、「子ども・保護者・学校」三者が多数のワークや実験を通じて体感する謂わば「体感型講演会」であることが本講演の特徴でした。このことによって座学のみでは実感しにくい即時的・実地的な学びができました。

例えば、私たちは同じものを見ていても人によっては全く違うものとして捉えているかも知れません。そのような価値観の多様性を実感として認識できるように「ルビンの壺」や「娘と老婆」の騙し絵を使い体感しました。

また四年生の児童に対するご講義では子ども達に「何がいじめにあたるのか」について具体例を検討しながら、法律に定めるいじめの定義のみにとらわれることなく「相手のつらさ」を理解することの大切さを学びました。このご講義も保護者向け講演会と同様にオルゴール実験やエナジースティックを用いた科学実験教室さながらの体感型授業となりました。子どもたちは活発に意見を述べ、充実した表情で教室を後にしました。

【活動を終えて】

今回の講演会の特色は、子ども・保護者・学校の三者それぞれが当事者意識を持つこと、「どう対応することが子どもの成長につながるのか」という視点で保護者と学校がチームとなることの大切さを「体感として」学んだことにあります。いじめ問題には多数の対応策があります。いち保護者としてその分水嶺を知り、行動する自信を持ち帰ることができた学びとなりました。



エナジースティック実験

(人の良さは人を介してさらに輝くことを体感した子どもたち)



体感型講演会の様子

(緊張感のあるテーマにも拘わらず驚きと笑顔に満ちた講演会)